



世代を越えて

伝えよう平和への願い

15日は終戦記念日



広島市上空にわきあがる原爆雲

私たち日本国民は、8月15日を「終戦記念日」と定め、戦争の悲劇を忘れることなく、これを二度と繰り返すまいと固く誓いました。成田市では、核兵器の廃絶や恒久平和を願い、「非核平和都市宣言」・「世界連邦平和都市宣言」の2つの平和都市宣言を行っています。

成田市は 平和都市宣言のまち

わが国は世界で唯一の核被爆国です。昭和20年8月に広島、長崎へ投下された原子爆弾は、一瞬にして10数万人の人命を奪い去りました。生き残った多くの被爆者も放射能の後遺症によって、死に至らしめられるなど、非人道的な核兵器による苦しみは終戦から半世紀

を超えた今もなお続いています。

成田市は、太平洋戦争終結から50年目という節目の年にあたる平成7年2月21日に、「非核平和都市」を宣言しました。これはわが国の国是である非核三原則が完全実施されることを願い、核兵器の廃絶・恒久平和の確立を目指し、平和の尊さを次代に伝えていくために宣言したものです。

また、本市は自ら永遠の平和都市となることを誓い、昭和33年10月31日に「世界連邦平和都市」を宣言しています。

世界連邦運動とは、人類の絶滅につながる戦争や国際紛争をなくし世界の恒久平和を築こうと、世界各国で提唱されているものです。

終戦記念日の8月15日を「平和を誓う記念日」として私たちの心にとどめ、あらためて平和の大切さを考え、戦争の恐ろしさ・悲惨さを次の世代に伝えていきたいと思います。

8月15日の正午に 1分間の黙とうを

8月15日(水)、日本武道館で全国戦没者追悼式が行われます。先の大戦で亡くなられた方々を追悼し、平和を祈念するために、正午に1分間の黙とうをお願いします。

市役所ロビーと図書館で 広島・長崎被爆写真展

市では次のとおり、市役所と市立図書館で「広島・長崎被爆写真展」を同時開催しています。

この展示会では、平和の尊さと核兵器の廃絶をテーマに、原子爆弾投下直後の広島・長崎の惨状を記録した写真のパネル約40点が展示されています。

なお期間中、市立図書館では、戦争と平和に関連する図書の展示と貸し出しも行っていきます。

会場＝市役所ロビー・市立図書館玄關ホール

期間＝8月15日(水)まで

時間＝午前8時30分～午後5時
(図書館は火・金曜日午前9時30分～午後7時、土・日曜日午前9時30分～午後5時)

パネルの貸し出しも行っています。くわしくは広報課内国際交流室(☎20 1503)へ。

非核平和都市宣言

(平成7年2月21日宣言)
世界の恒久平和は、全世界の人々の共通の願いである。

我が国は世界で唯一の核被爆国として、広島・長崎に原爆が投下されて本年で50年目を迎える。

我々は、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再びこの地球上にあの惨禍を繰り返すことのないよう強く望むものである。

このため、平和を希求する我々成田市民は、我が国の国是である非核三原則が完全実施されることを願い、全世界の人々と共に、核兵器の廃絶、恒久平和確立のためここに「非核平和都市」を宣言する。

世界連邦平和都市宣言

(昭和33年10月31日宣言)
成田市は、宗教観光都市として、世界連邦建設の趣旨に賛同し、自ら永遠の平和都市となることを決意し、全世界の恒久平和確立と人類の福祉増進に努力せんとするものである。

右宣言する。